

平成十八年四月十八日提出
質問第一三三〇号

外務省の邦人保護に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

外務省の邦人保護に関する質問主意書

一 二〇〇六年三月一日、衆議院予算委員会第三分科会において、一九九六年に中華人民共和国で逮捕、起訴され、二〇〇三年まで服役した原博文氏について、政府参考人（谷崎泰明外務省領事局長）は、「この原氏でございませけれども、平成十五年の一月に、六年七カ月にわたる受刑が終わりまして、釈放され、帰国したというふうに承知しております。同年七月に、当時の外務省の領事移住部を来訪され、我が方の職員が邦人保護の観点から面談しているという事実がございませ。」、「この平成十五年七月にお会いしたときでございませけれども、特にこの面談の中身でございませが、帰国の報告、それから服役中の邦人保護に関連するもの、具体的には服役中の御苦労されたお話、さらには領事面会への謝意というようなことがございませ。また、特殊な点でございませけれども、御本人が大使館に荷物を預けておりましたので、その受け取りの方法等についての協議をしたというふうに承知しております。」と答弁しているが、原博文氏と外務省領事移住部の職員が面会した日付を明らかにされたい。

二 一の面会は領事移住部のどの課が行ったか。面会に担当課長もしくは首席事務官が同席したか。

三 一の面会に関する記録が作成されたか。

四 三の記録が作成されたならば、その記録は当時の川口順子外務大臣、竹内行夫外務事務次官に回覧されたか。

右質問する。